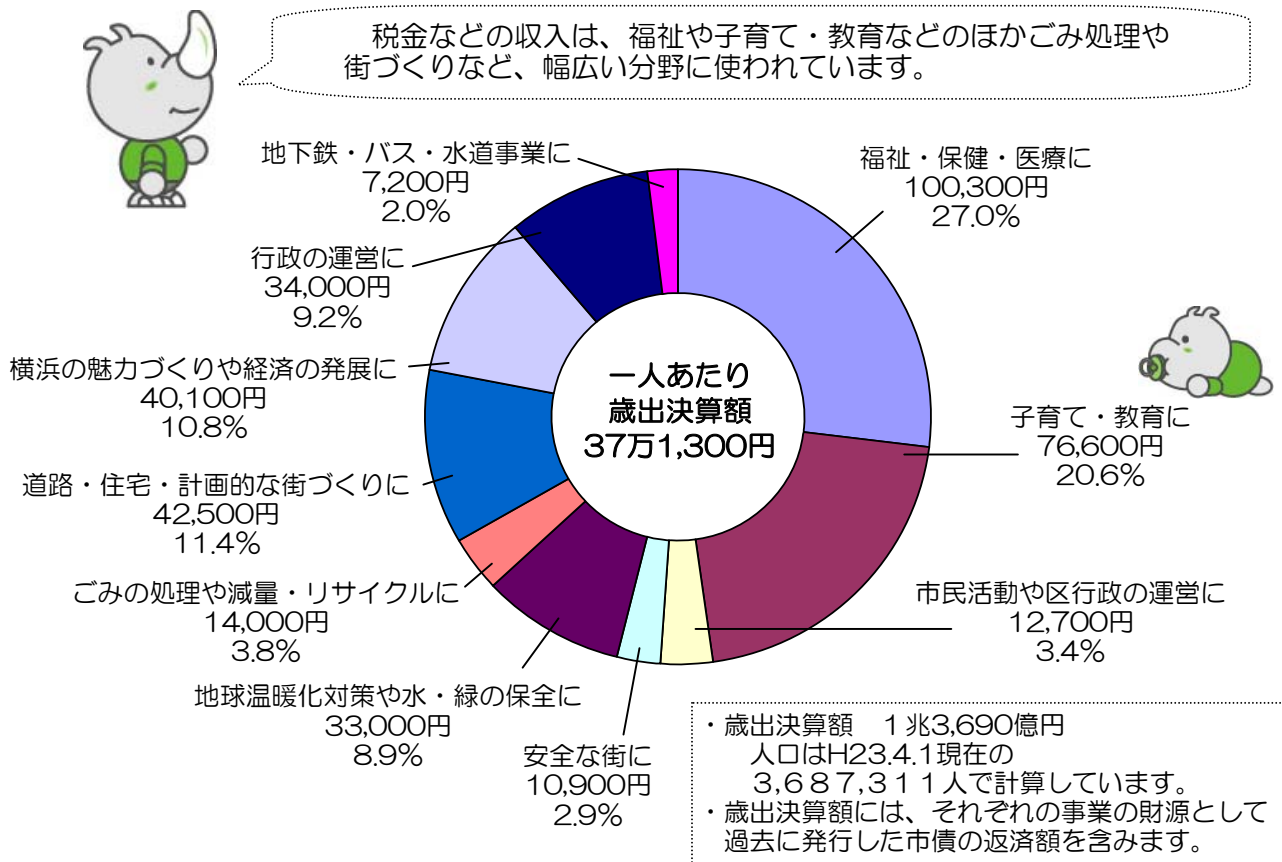


5. データでみる決算

みなさまに納めていただいた税金は、何にどのくらい使われているのでしょうか？



次に、医療保険や福祉、市民利用施設の運営など身近な事業にかかる1年間の費用は、誰がどのくらい負担しているのかをご紹介します。

☆主な医療・福祉関係事業にかかる費用の状況（対象者一人あたり）

区 分	対象者一人あたり年間費用(円)	財源(円)			対象人数(人)
		市税	国・県費	保険料や自己負担など	
国民健康保険給付(一般給付費)	222,656	19,611	55,153	保険料 65,796 交付金 82,096 ※1	900,193
小児医療費助成	34,715	27,395	7,320	0	184,327
重度障害者医療費援助事業	160,315	120,024	40,291	0	49,650
生活保護費(生活扶助) ※2	700,558	175,140	525,418	0	58,053
保育所の運営	1,469,842	951,139	229,057	289,646	39,316

※1 保険者(共済組合等)間の医療費の不均衡を調整するために、各保険者の納付金(被保険者が支払う保険料)を原資として、前期高齢者加入率が全保険者平均を上回る保険者に対して支払われる交付金等。

※2 生活扶助は、生活保護費のうち、衣食その他日常生活の需要を満たすために必要なもので、全体に占める割合は35.7%です。その他に住宅扶助、医療扶助、教育扶助等があります。

☆市民に身近な施設の運営に！

●**地区センター運営に要する経費**は、一施設あたりにすると約3,700万円
市民一人あたりの負担は803円
【地区センター運営費；29億6,000万円・地区センター数；80か所】



●**スポーツセンター運営に要する経費**は、一施設あたりにすると約4,600万円
市民一人あたりの負担は224円
【スポーツセンター運営費；8億2,600万円・スポーツセンター数；18か所】

☆安心・安全・快適な暮らしに！

●**消防・救急業務に要する経費**は、市民一人あたりの負担は9,547円
【経費；352億300万円】
<22年中の活動状況>
火災件数 961件 (21：1,010件)
火災以外(救助、救命等)の件数 15,123件 (21：14,926件)
救急出場件数 158,631件 (21：148,589件)



●**資源物、ごみの収集処理に要する経費**は、市民一人あたりの負担にすると8,340円
【経費；307億5,200万円】
<22年度のごみと資源の総排出量> 126万トン (21：128万トン)

☆公園・道路の維持管理に！

●**公園の維持管理費**は、1㎡あたりにすると318円
市民一人あたりの負担は1,288円
【公園管理費；47億5,100万円】
【公園管理面積；14,925,132㎡ (21：14,878,284㎡)】
(管理公園数；2,593か所 (21：2,584か所))
※管理費、管理面積ともに動物園等は除く。

●**道路の維持管理費**は、1㎡あたりにすると151円
市民一人あたりの負担は2,095円
【道路維持費；77億2,600万円】
【道路管理面積；51,005,700㎡ (延長；7,548Km)】

